

アル・アクサ洪水第735日目：喜びと爆弾：停戦合意を祝うガザ住民、一方でイスラエルの攻撃は続く

Palestine Chronicle, 2025年10月9日



パレスチナのジャーナリストたちは、長期にわたる虐殺の後、停戦合意の知らせを祝った。(Photo: Mohammed al-Haddad)

主要事項

* トランプ米大統領は、ガザ合意は間近だと述べ、土曜日から日曜日、シャルム・エル・シェイフ協議の3日目あたりに中東へ行くかもしれないと示唆した。

* イスラエル占領軍はガザ回廊全域への猛爆撃を続け、僅かな時間で数十人を死傷させた。ガザ保健省は、2年前の戦争開始からパレスチナ人の死者の数が67,000人を超えたと発表した。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降、イスラエルの攻撃による犠牲者数は、死者67,194人、負傷者169,980人となり、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月10日 12:36am

* パレスチナ・クロニクル：ハマス指導者のハリル・アル・ハヤは、トランプ米大統領の計画の調停によるシャルム・エル・シェイフ停戦合意が成立したことを受け、イスラエルの2年間にわたるガザ・ジェノサイド戦争が完全終結したと発表した。

* パレスチナ・メディア：病院筋によると、この24時間でイスラエル軍の砲撃で27人がしぼうした。そのうち18人がガザ市の死亡者である。

10月10日 12:02am

*パレスチナ・クロニクル：ハマスと合意した停戦の発効のわずか数時間前に、イスラエル軍はガザ回廊全域を攻撃し、民間人を多数死傷させた。

10月9日 11:54 pm

*パレスチナ・クロニクル：UNRWAのフリップ・ラザリーニ事務局長は、2年間にわたるイスラエルのガザ・ジェノサイドの後、「やっと停戦と人質解放が合意されたことに、心底ほっとしたと言った。

10月9日 11:49 pm

*ハマス声明：ハマスは仲介者と米国政府に対し、「イスラエル占領軍の犯罪に対して仲介者としての責任を果たし、イスラエルに民間人への爆撃をやめさせるように介入する」ことを要請した。ハマスは、「占領軍の組織的虐殺は、イスラエル政府が最後の最後までジェノサイド継続に固守していることを表している」と言った。ハマスは、「ガザ市西の虐殺は、仲介者の努力を妨害し、合意の履行を邪魔する目的である」と述べた。

*チャンネル12：スティーヴン・ウィトコフとジャレッド・クシュナーがネタニヤフ首相と友イスラエル閣議に出席した。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相がスティーヴン・ウィトコフ米特使とジャレッド・クシュナー補佐官と会談したために、またもや閣議が延期された。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍がガザ市南西部のいくつかの地域を空爆していると報じた。

*ガザ市民防衛団：ガザ市南のアッサブラ地区の住宅をイスラエル軍が空爆し、4人が死亡し、40人負傷した。

*イスラエル・メディア：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣は「人質全員の解放はうれしいが、殺人犯の祝砲には反対しよう」と言った。さらに彼は、「ネタニヤフはハマス解体を約束した。それが実現しないなら、政府を解体する」と付言した。

*チャンネル12：ガザ合意に関する採決は閣議では行われず、午後10時まで延期となった。

*ハマス：ハマス指導者ハリル・アル・ハヤは次のように言った。「ガザの人々はこれまで世界が見たことがない戦争を戦った。敵の残虐さ、虐殺、破壊に断固として抵抗した。殺害、絶え間ない避難、飢餓、損失の中で不屈精神を発揮した人々を称賛する。殉教した指導者ハニヤ、アル・アルーリ、アッシンワル、アッディフを追悼する。我々の戦士は敵の戦車の前で山のように立ち向かい、避難と混乱を招こうとした敵のあらゆる企てを破った。彼らが戦場の戦士であったように、我々代表団は交渉における戦士であった。合意には、イスラエル軍撤退、援助物資の搬入、ラファ・クロッシングの再開、捕虜交換が含まれている。」

*ガザ救急隊：医療筋によると、イスラエル軍がガザ市中心部の住宅を空爆し、死傷者が発生した。

*ウォールストリート・ジャーナル：関係者の話では、ガザ停戦合意はイスラエル政府の承認で発効する。

*ホワイトハウス：トランプ大統領は、招待されればクネセトで演説することを了承したと言った。トランプ大統領は、ハマスは武装解除されて「ガザは人々がより良い生活を送れる住みやすい場所になるだろう」と述べた。トランプ大統領は、米国はガザ復興に協力する裕福な国々と連絡をとっており、「中東に和平協定が急速に拡大することを期待する」¹と言った。最後に、「人質の大半の居所は分かっているが、死亡した者の一部は発見が困難かもしれない」と言った。

10月9日 8:12 pm

*パレスチナ・クロニクル：ハマスとイスラエルが停戦と捕虜交換で合意が成立したという報告で、イスラエルの政界では木曜日に懸念が浮上した。

10月9日 8:04 pm

*トランプ大統領：トランプ米大統領が、「ガザ戦争は終結した」と宣言し、「中東の平和は永続するだろう」と言った。人質解放は月曜日から火曜日になると述べ、カタール、エジプト、トルコが「この素晴らしい成果」に貢献したと称賛した。トランプ米大統領は、エジプトで行われる合意調印式に出席する計画を発表し、「多くの国がガザ復興に多額の資金を

訳注1：イスラエルとアラブ諸国の国交正常化し、パレスチナ問題を消滅させる策略。

提供するだろう」と言った。トランプ米大統領は、ハマスは7万人の戦闘員を失ったと主張しているが、「戦争を終わらせなければならない」と述べ、「イランへの攻撃はガザ合意の実現に重要だった」と付言した。

* CNN：イスラエル高官の話では、ガザ停戦合意の第一段階の採決のために木曜日に閣議が召集されたが、イスラエル放送局（カン）によると、採決は現地時間の午後8時まで延期された。

10月9日 5:54 pm

* パレスチナ・クロニクル：世界の指導者たちは、ハマスとイスラエルがガザ停戦の第一段階に合意したことを歓迎した。

10月9日 5:41 pm

* フォックス・ニュース：イスラエルのギデオン・サール外相はフォックス・ニュースに対して、イスラエルはトランプ大統領の計画にコミットしており、すべての条項が実施されることを望んでいると述べ、「イスラエルは戦争を再開する意図はない」と強調した。

* アル・ジャジーラ：ハマス幹部はアル・ジャジーラに対し、捕虜交換リストに関する協議はまだ継続しており、仲介者は数時間以内に解決しようと奮闘していると語った。情報筋によると、ハマスは、停戦実施の予定表と正確な発効日時に関する最終的な回答を今朝仲介者に提出した。シャルム・エル・シェイフ交渉はすべて仲介者を介した間接交渉である。

* イスラエル・メディア：イスラエルのミキ・ゾハル文化大臣は、「たとえ大きな代償を払うことになっても、合意を進めなければならない」と言った。彼は、イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣とスモトリッチ財務大臣の反対があっても、捕虜交換合意は閣議で可決されると言った。

* パレスチナ・メディア：イスラエル軍のハーン・ユニス中心部への爆撃でパレスチナ人1人が死亡した。

* イスラエル首相府：マルワン・バルグーチは捕虜交換合意で釈放しないと述べた。バルグーチはファタハ系グループのインティファダを指導したとして、2002年4月から5回の終身刑とさらに40年の刑に服している。

* パレスチナ・メディア：アル・アフリ・アラブ病院の報告によると、イスラエル無人機がガザ市西部のアル・ヤルムーク学校を攻撃し、数人が負傷した。

* イスラエル・メディア：イスラエル政府報道官は、「我々はこの戦争で決定的局面に達した。ネタニヤフ首相が設定した目標がすべて達成された」と発表した。報道官は、停戦が24時間以内に発効し、軍はガザ回廊の53%を支配する「イエローライン」に再展開すると付言した。

* CNN：イスラエル情報筋がCNNに、パレスチナ人囚人の釈放リストをめぐる交渉中であると語った。

* イスラエル軍ラジオ放送：治安筋の話では、ハマス指導者ヤヒヤ・シンワールとその弟のモハンメドの遺体は捕虜交換合意でも引き渡されない。

* アナドル通信：トルコのエルドアン大統領は、停戦合意調印後イスラエルは直ちに攻撃をやめて、合意した線まで撤退すべきだと言った。彼は、トルコが停戦実施の監視に参加し、ガザ再建に貢献すると言った。

* パレスチナ・クロニクル：国連と世界各国の政府は、「平和のための結束」と名づける緊急特別会議を招集し、パレスチナ国を公式に承認し、イスラエルを孤立させるために各種措置を講ずるべきだ。[ニコラス・J.S.ディヴィスの小論](#)を読みたい。

10月9日 2:52 pm

* アル・ジャジーラ：ハマスの報道官はアル・ジャジーラにたいして、イスラエル占領軍は合意されたタイムライン、囚人リスト、撤退手順をゴマ化そうとしていると言った。イスラエルは軍撤退、釈放される囚人の氏名発表、ガザ難民の帰還という重要事項で遅延を続けていることを指摘して、「我々は占領軍に合意を守ることを求め、仲介者に対しイスラエルに圧力をかけることを要望する」と述べた。仲介者らはこの合意がガザ・ジェノサイド戦争終結の端緒となると確認したはずだと付言した。彼はまた、人質は、生者も遺体も含めて、全員第一段階で引き渡させると言った。

* ワシントンポスト：ステイーヴン・ウィトコフ米中東担当特使が木曜日夜にイスラエルへ到着する。

* アル・ジャジーラ：トルコの高官がアル・ジャジーラに対して、トルコは、米国、カタール、エジプト、イスラエルと並んで、爆撃で死亡した人質の遺体を捜索するタスクフォースに加わると語った。

* イスラエル軍：政治指導部の指示で新たな戦線へ再展開するが、現地調査など準備をしているところだと発表。

*イエディオト・アハロノト：野党指導者ヤイル・ラピッドは、ガザ停戦合意に関する閣議採決をする前に、安全保障報告を行い、合意条項に関する詳しい説明をすることを、ネタニヤフ首相に求めた。

*イスラエル・メディア：ガザ合意の発表を受け、人質家族会と数百人がテルアビブの中心部でデモを行った。

*パレスチナ・メディア：ガザ市民防衛団は、イスラエル軍がまだ駐留して危険地帯となっているので、ガザ市南部の住民に、ガザ市への帰還を控えるように呼びかけた。

*チャンネル13：イスラエル当局はチャンネル13に対し、人質帰還は月曜日に開始される見込みと言った。

10月9日 12:40 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル人よりもはるかに多くのパレスチナ人捕虜がイスラエル刑務所で死んでいるが、このことはほとんど報道されない。同じように、イスラエル人捕虜の大半がイスラエル軍の爆撃で死んだこともめったに報道されなかった。

10月9日 12:00 pm

*チャンネル12：ガザ停戦は合意への署名後、現地時間12pm（グリニッジ標準時9:00）に発効する。

*ロイター通信：イスラエル高官はロイター通信に対し、人質20人の解放は日曜日から月曜日に行われる見込みと語った。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ抵抗勢力は、停戦合意を「我々の人民のスムード（不屈の粘り強さ）の当然の結果」と称賛し、封鎖解除、援助物資供給、復興、そして捕虜交換が優先事項だと強調した。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告では、イスラエル軍のハーン・ユニス中心部への空爆で数人が負傷した。

*チャンネル13：イスラエルの情報筋の話では、合意で釈放するパレスチナ人囚人の身元に関して協議が行われている。

*WHO：世界保健機構（WHO）は、ガザの緊急的医療ニーズに対応し、ほぼ壊滅状態にあるガザ回廊の医療システムの復興を支援するために、活動を拡大する用意があると表明した。

*WFP：世界食糧計画（WFP）のシンディ・マケイン事務局長は、WFPはガザ回廊で活動を拡大する用意ができており、命を救うために「今すぐ行動を起こさなければならない」と言った。

10月9日 11:43 am

*パレスチナ・クロニクル：トランプ計画の第一段階は、停戦条件、捕虜交換、援助物資トラック搬入、イスラエル軍のガザ撤退などである。

10月9日 10:44 am

*ガザ合意に関する世界の反応

・ドイツ（フリードリッヒ・メルツ首相）：ドイツ政府は合意に関する状況を注意深く見ているが、今週中に解決されるものと信じている。

・スペイン（ホセ・マヌエル・アルバレス外相）：ガザで合意を活かすためにあるゆる努力をしなければならない。ネタニヤフ政権はパレスチナ人に対するジェノサイドに終止符を打ち、最終的和平に向かって具体的な行動をとるべきだ。最終的和平は二国解決とパレスチナ国家樹立が基本的条件となる。ジェノサイドの責任者には責任を取らせるべきである。

10月9日 11:43 am

*パレスチナ・クロニクル：2025年10月9日（木）早朝、ガザ回廊の住民が瓦礫だらけの街頭へ繰り出し、トランプ米大統領の計画に基づいたイスラエルのジェノサイドを止め人質の解放を目的とした段階的停戦合意の発表を、みんなで祝った。

10月9日 10:39 am

*ガザ停戦合意への国際社会の反応

・フランス；合意を達成した仲介者（トランプ大統領、カタール、エジプト、トルコ）の努力を歓迎する。フランスは当事者すべてに、合意条件を厳格に守り、合意が戦争終結となり、二国解決の出発にすることを求める。

・中国；恒久的で包括的な停戦ができるだけ早く実現することを期待する。わが国はパレスチナ問題の公正な解決に向けて国際社会と協力する用意がある。

・トルコ；交渉が停戦に至ったことを喜ばしく思う。トルコは停戦が厳格に実施されることを監視し、今後もこのプロセスに貢献する。

・ドイツとイタリア；ドイツ政府は合意を人質解放と停戦に道を開くものと歓迎する。イタリアのメローニ首相は、この合意は、中東紛争の終結の機会になると言った。

・イスラエル過激派の反応；ベザレル・スモトリッチは、「刑務所を空にして次世代テロ指導者を釈放することの結果が心配」で、合意に賛成票を投じることはできないと言った。人質が帰還した後で戦争を続けてハマスを絶滅する必要を力説し、人質返還と戦争終結という交換を受け入れるべきではないと警告した。

・準備；イスラエル・メディアの報道によれば、病院が返還される人質を入院させて検査する準備をしている。

・抵抗勢力にとって成果；イスラム聖戦とPFLPは合意をパレスチナ人民の犠牲と抵抗勢力の戦いによってもたらされた成果と称賛した。彼らは、合意はシオニストの目的を挫折させたもので、「誰かからの贈り物」ではないと強調した。

10月9日 8:58am

*イスラエルの攻撃の中の停戦合意を祝賀：今日早朝、ガザの住民は街頭へ繰り出して、トランプ計画に基づいてイスラエルのジェノサイドを終結して人質を解放するという段階的冷戦合意の発表を祝った。

10月9日 8:56am

*ニュースのまとめ

・停戦合意にもかかわらず続く砲撃；イスラエル占領軍はガザ市アッサブラ地区南西部のアッシナア通り一帯を砲撃した。合意が発表された後も攻撃が続いている証拠である。

・ノルウェーの警戒感を含んだ期待；ノルウェーのエスペン・バット・アイデ外相はガザ合意に関して「警戒感を含んだ楽観的」見方を示し、合意を心を込めて歓迎しようと言った。

・イタリア、ガザ復興支援の用意；イタリアのアントニオ・タヤーニ外相は、「中東から良い知らせがきた」と述べ、イタリアは停戦を安定化とガザ復興を支援する用意があると言った。また、ガザに国際平和軍を派遣すなら、イタリア軍部隊を派遣する用意があると言った。

・国連；国連人道問題担当事務次長は、国連チームはガザの人命救助のために大規模援助トラック・コンボイを用意していると言った²。

・イスラエル軍の展開変化；イスラエル軍ラジオ放送は、ガザ回廊のイスラエル戦闘部隊に展開変化の準備をせよという命令が降りたと報道した。占領軍は、数日中に完全撤退か後方への再展開となる。

・人質解放；ニューヨークタイムズと駐米イスラエル大使はどちらも、生存人質の解放は日曜日から月曜日になると示唆した。トランプ大統領は、生存人質と遺体の引き渡しは月曜日だと述べた。

・イスラエル軍撤退速度；ホワイトハウス高官がABCに対し、イスラエル軍がガザの分離ラインまで撤退するのは24時間もかからないと言った。

・ハマス、釈放囚人名簿提出；ハマスは、合意された基準に基づき、釈放を希望する囚人のリストを仲介者に提出し、イスラエル側の承認を待っている。

・トランプの保証；ハマスは、人質解放したらイスラエルが戦争を再開する可能性があるので、そういうことがないという保証を要求していたが、トランプ大統領がイスラエルが戦争再開することを許さないと保証したと、仲介者筋が言った。

・イスラエル軍；イスラエル軍は合意を歓迎し、参謀総長が全軍に強力な防衛態勢を敷いて、予定されている人質返還作戦に「慎重と専門性」をもって当たるように支持したと言った。

・イスラエル法務大臣；ヤリヴ・レビン法務大臣はチャンネル12に対し、ハマスとの合意には「痛みを伴う譲歩」が含まれていると言った。彼は、イスラエルはハマスが二度と武器を持たないようにすると主張した。

訳注2：トランプのガザ計画は国連のガザ関与を排除している。

・国際社会の声；英国のキア・スターマー首相は合意を歓迎し、それが遅れることがなく完全実施されることと、ガザへの援助物資搬入の制限をすぐに解除することを求めた。国連のグテーレス事務総長は、すべての関係者が合意を完全に実施すること、すべての被拘束者の尊厳ある釈放、恒久的停戦、人道支援物資と必要不可欠な商品の支障のない搬入強く求めた。オーストラリアもカナダも合意を和平に向けての必要な前進として歓迎し、早急に履行することを求めた。

・ハマス声明；ハマスの政治局員のイッサト・アッリシュクは合意を「民族的成果」と称賛し、イスラエルがジェノサイドと飢餓戦略で達成できなかったことは、交渉でも達成できなかったと述べた。

・完全解決を求める声；アムネスティ・インターナショナルは、停戦はイスラエルの違法なジェノサイドを終わらせる一歩にすぎない、一時的停戦では不十分だと言った。

・ガザの祝賀；合意発表後、ハーン・ユニスやその他の地で人々がそれを祝賀する映像がネットに流された。記者たちが情報を伝えるために車で回っている様子も写っていた。

・イスラエル軍の攻撃の継続（合意発表後も）；イスラエル軍戦闘機がガザ市南部のアル・ハワ地区を爆撃し、ガザ市西部を砲撃し、アッシャティ難民キャンプの1軒の家を破壊した。ハーン・ユニス中心部を空から空爆、地上から砲撃した。アッサブラ地区では爆弾車両を使って住宅破壊を続けた。

・イスラエル軍の警告；イスラエル軍報道官は、部隊が依然としてガザ市を包囲しており、ガザ渓谷北部地区は危険な戦闘地区であるから、住民は北へ移動しないようにと警告した。

・クネセト、トランプを招待；ネタニヤフ首相はトランプ米大統領にイスラエル議会での演説を要請した。

・トランプ；トランプ大統領はアクシオスに対し、クネセトが希望するなら演説すると言った。彼はネタニヤフ首相と「素晴らしい」電話会談をしたと語り、首相が「とても喜んでいた」と言った。

10月9日 2:39am

*パレスチナ・クロニクル：ハマスとイスラエルは、戦争終結、イスラエル軍撤退、捕虜交換のトランプ計画に基づく米政府提案のガザ停戦の第一段階に達した。

10月9日 2:24am

*ハマスのガザ戦争終結合意の発表：

主要条件；合意には以下が含まれる。イスラエルのガザ攻撃の終結。イスラエル占領軍のガザ撤退。人道支援を受け入れ。捕虜交換。

仲介者への謝辞；ハマスは、カタール、エジプト、トルコの仲介努力、そしてトランプ大統領の恒久的停戦を目指した尽力に謝辞を表した。

コンプライアンス要求；ハマスは、トランプ大統領、保証諸国、アラブ・イスラム諸国に対し、イスラエルに合意の完全履行を迫り、イスラエルが履行を回避したり先延ばししないように保証することを求めた。

軍事攻撃の継続；アル・ジャジーラ特派員は、今日（木曜日）イスラエル軍機がガザ市を空襲したと報じた。この攻撃は、米国大統領と仲介者の戦争終結合意の発表と同時に行われた。

10月9日 2:09am

*トランプ発表：トランプ米大統領は、イスラエルとハマスが和平計画の第一段階に署名したと発表した。この署名はすべての人質が間もなく解放されることを意味する。イスラエル軍は、強固で恒久的な平和に向けた第一歩として、合意されたラインまで撤退する。私はすべての関係者が公正に扱われることを保証した。

10月9日 1:49am

*ニュースのまとめ

・本日合意署名予定；イスラエル高官はチャンネル12に対して、ガザ合意は今日調印される予定だと話した。

・最終的草案作成段階；関係筋はアル・ジャジーラに対して、主な障害が克服され、今やパレスチナ側とイスラエル側双方の代表に関して、合意の「最終草案」作成段階にあると語った。

・肯定的反応；仲介者はトランプ計画の第一段階に関して双方から肯定的反応を得たと言った。

・間もなく正式発表；イスラエル高官はカンに対し、数時間以内に合意が発表されると述べた。

・米国の準備；米政府は、トランプ大統領が合意を発表する演説原稿を用意しており、それは近いうちに Truth Social にもポストする予定だと発表した。マルコ・ルビオ国務長官はトランプ大統領に「合意に近い」というメモを渡したと言われている。

・人質解放タイムライン；イスラエル高官は、人質の解放は土曜日か日曜日になる予定だと述べた。

・交渉写真；パレスチナ・メディアは、カタール、トルコ、ハマス代表団が写ったシャルム・エル・シェイフ会議の写真を公開した。

・継続する破壊；ガザ政府メディア・オフィスは、国際社会から攻撃中止の声があるにも関わらず、停戦協議の最中にイスラエルの攻撃が続いていると報告した。この5日間で271回の攻撃があり、126人が死亡した。

・アッサブラ地区の破壊；イスラエル軍は数トンの爆発物を仕掛けた車両をアッサブラ地区で爆発させ、住宅を破壊した。

・救援活動；活動家たちは、イスラエル軍のガザ市攻撃で負傷した兄弟姉妹を救急隊員が介護する様子を撮影し、そのビデオクリップを拡散した。

・デイル・ジャリールで葬儀；水曜日夕方、ラマッラー北東のデイル・ジャリール村を入植者が襲い、それに立向かったジハード・アジャジが入植者の銃撃で射殺された。人々は彼の葬儀に参列して、哀悼の意を表した。

・エルサレム侵攻；イスラエル軍は、水曜日早朝、エルサレム北部のシャファト難民キャンプを襲撃した。

10月9日 12:43am

＊パレスチナ・メディア：イスラエル軍は今日早朝、ガザ市東部のアッシェジャイヤ、アットウファーフ、アッダラジの各住宅地を砲撃した。それと同時に、戦闘機がガザ市の上を低空飛行した。

＊アル・アクサTV：医療関係者がアル・アクサTVに対して、この24時間で飢餓で苦しむパレスチナ人が援助物資配給を求めているときに殺害されたのは8人だと言った。彼らは閉鎖されたガザで深刻な食糧不足で苦しむ数千人の避難民の一部であった。

＊イスラエル・メディア：水曜日の夜、軍の救援ヘリコプターがガザ回廊からテルアビブのベイリンソン病院へ負傷兵を搬送した。

＊ホワイトハウス：トランプ大統領は、ガザ合意に近いと述べ、人質解放前にエジプト、場合によっては中東を訪問するかもしれない。ガザを訪問するかとの質問に対しては、大統領は、「検討するかもしれないが、決定していない」と答えた。大統領は、マルコ・ルビオ国務長官から「合意に近い」と伝えられ、「中東の平和は手が届くところにある」と言った。

＊イスラエル軍：空軍はイエメンから発射された2機目のドローンを迎撃したと発表した。前のドローンをエジプト国境付近で迎撃してから数時間しか経っていない。

10月8日 11:49pm

＊パレスチナ・クロニクル：ガザ政府メディア・オフィスが昨日発表したところによると、イスラエル占領軍は平均して1日に2人の医療従事者を殺害し、2日間に13人の手足切断しなければならない重傷者を発生させている。

10月8日 11:46pm

＊パレスチナ・クロニクル：パレスチナ・イスラム聖戦運動の軍事部門のアル・クッズ旅団は、アッシャティ地区とテル・アル・ハワ地区付近でイスラエル軍を攻撃した。イスラム聖戦の指導者ジャド・アンナハーラーは、パレスチナ人は決して降伏しないと宣言し、シャルム・エル・シェイフ交渉の成否は捕虜交換とイスラエル軍の全面的ガザ撤退にかかっていると言った。

10月8日 11:44pm

＊パレスチナ・クロニクル：元イスラエル国連大使ロス・プロソールのインボックスからハッキングされたEメールから、2014年のイスラエルのガザ攻撃のとき、アトランティック誌のディビッド・フラムや英国のジャーナリスのダグラス・マレーなど多数の著名ジャーナリストが、スピーチ原稿の作成など「直接的支援」をプロソールに申し出ていたことが明らかになった。

10月8日 11:27pm

*アル・ジャジーラ：パレスチナの幹部はアル・ジャジーラに対して、パレスチナ代表団と仲介者との会合が終わり、現在仲介者は係争事項に関する最終的回答を得るためにイスラエル側と会談していると語った。報道によると、捕虜交換リストと、人質返還後に戦争へ戻らないという保証については進展があったという。ハマスは人質全部の引き渡しに同意したが、遺体の引き渡しは戦況が落ち着くまで延期するとした。仲介者は両代表団に金曜日（10月10日）を交渉期限とするように求め、人質解放前にイスラエル軍撤退マップを提出せよというパレスチナ側の要求を認めた。また、合意が成立した場合、トランプ大統領が正式に終戦を宣言すると、パレスチナ代表団に伝えた

*アル・ジャジーラ：トランプ米大統領は、ハマスとの交渉は「順調に進んでいる」と述べ、12日に中東訪問するかもしれないと付言した。彼は、「すべてのアラブ諸国とイスラム諸国がこの交渉に関与している。これは前例にないことだ」と言った。

*イスラエル軍：イスラエル・メディアは、イスラエル空軍がイスラエル・エジプト国境付近でイエメンから発射されたドローンを迎撃したという発表を報じた。

*CNN：マルコ・ルビオ国務長官は、ガザ停戦合意が成立すれば、トランプ大統領が中東訪問するかもしれないと言った。

10月8日 10:01pm

*アル・ジャジーラ：スペイン与党幹部のアナ・モロはアル・ジャジーラに対し、イスラエルが国際法違反行為を続けるのは、国際的責任追及がないためであると言った。「イスラエル政府はパレスチナ国樹立を望んでいない」と述べ、国連に対しイスラエルとその支持国に国際法遵守を迫る具体的行動を取ることを求めた。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍機がガザ市東部に激しい一連の空爆を行ったと報じた。これは、現在の軍事攻勢を新たに拡大したことを示す攻撃である。

*アクシオス：マルコ・ルビオ国務長官は予定していたガザ戦後処理に関する外相会議への出席を取りやめた。イスラエル政府筋がアクシオスに語ったところによると、パリ外相会議は「トランプ大統領の計画から注意を逸らし、進行中の交渉を損なう恐れがある」として、トランプ政府に参加を控えるように要請した。

10月8日 8:17pm

*パレスチナ・クロニクル：グローバル・スムード船団に参加してイスラエルで拘束された南アフリカの活動家マンドラ・マンデラは、イスラエルを「崩壊しつつある国家」と呼び、「盗んだ土地には正義はない」と言った。ケープタウンから発信した[スラー・テープの小論](#)を読みたい。

10月8日 8:15pm

*ガザ市民防衛団：イスラエルは、シャルム・エル・シェイフ交渉中は大規模な虐殺を控えてはいるものの、ガザ市破壊は激化させている。「停戦交渉中も、ガザは決して平穏ではない。住民の帰還を阻止することを目的とした、異なる形のジェノサイドが行われている」と、市民防衛団が声明を出した